

## 鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 28 年度第 1 回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	平成 28 年 6 月 28 日（火）10：30～12：00
開催場所	鳥羽市民文化会館 第 3 小会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 役員の選任、自己紹介【資料 1・2】</li> <li>3. 平成 27 年度の取り組み報告【資料 3】</li> <li>4. 平成 27 年度決算について【資料 4】</li> <li>5. 平成 28 年度事業計画について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)年間スケジュールについて【資料 5】</li> <li>(2)地域内フィーダー系統確保維持計画について【資料 6】</li> </ol> </li> <li>6. 平成 28 年度収支予算（案）について【資料 7】</li> <li>7. その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・かもめバス利用状況統計について【資料 8】</li> </ul> </li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料 1】 席次表</li> <li>【資料 2】 委員名簿（バス幹事会）</li> <li>【資料 3】 平成 27 年度の取り組みについて</li> <li>【資料 4】 平成 27 年度鳥羽市地域公共交通会議決算</li> <li>【資料 5】 地域公共交通会議スケジュール（案）</li> <li>【資料 6】 地域内フィーダー系統確保維持計画</li> <li>【資料 7】 平成 28 年度鳥羽市地域公共交通会議予算（案）</li> <li>【資料 8】 平成 28 年度かもめバス利用状況統計</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	3 人（三重交通）
出席委員	木下会長、小出委員代理杉山さん、富永委員代理牧田さん、中村委員、今井委員、村林委員、清水委員、中谷委員代理藤本さん、世古口委員、中垣内委員、中林委員
オブザーバー	なし
欠席委員	加藤委員、濱田委員、傍島委員、榎委員、上野委員
事務局	定期船課 斎藤、野呂、大矢

### 1. 開会

○斎藤事務局長

- ・開会
- ・配布資料の確認

○木下会長挨拶

みなさん、こんにちは。本日は地域公共交通会議のバス幹事会に参加をいただきありがとうございます。日頃はバス事業にご理解とご協力をいただきまして、また、交通事業の多岐にわたりご支援をいただき、市長に成り代わり御礼申し上げます。先月行われました伊勢志摩サミットにつきまして、5月31日に三重県知事に同行いたしまして安倍総理をはじめいろいろな方にお礼を申し上げてきました。その中で特に伊勢志摩で開催して良かったという言葉をお安倍総理、官房長官、外務大臣等から頂きました。特に警察庁長官にありましては、全国から警察官が伊勢鳥羽志摩に来られまして、安全安心のうちにサミットを終了できたということで深く感謝をされておりましたので御礼を申し上げます。

午後から鳥羽おもてなし会議が開催されます。その中で伊勢志摩サミットを一過性のものに終わらせず、3年5年10年先に伊勢志摩鳥羽がどうあるべきかということこれから議論していきますので、機会があれば行政の方へこういう事をしたらどうかと、ご提案をいただければいいかなと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。それから、かもめバスの鳥羽国崎線において、4月5月についてはかなり警察官が市内でも移動されたと聞いておりますので、利用客数は伸びるのかと思っておりますが、平成27年度の利用については事務局の方から説明があると思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 2. 役員の選任、自己紹介

資料 1・2 により役員の選任を行い、会計は中部運輸局鳥羽海事事務所黒田委員、監事は三重県地域連携部交通政策課の富永委員が選任された。その後、出席者全員による自己紹介を行った。

### 【地域公共交通と協議会のあり方について説明】

#### ○中部運輸局三重運輸支局 杉山さんから中部運輸局作成のパンフレットにより説明

この資料は昨年度、中部運輸局にて地域公共交通会議がより良くなるようにということで、鳥羽市の委員にもなっておられる加藤先生等の学識経験者の方々にご協力を頂きまして作成した物であります。

地域住民の方と関係事業者の方と行政の三者が一堂に会して、その地域にふさわしい公共交通を作り上げて今後のよりよい交通を維持していくための課題を話し合う場となっています。資料には会議の参加者と役割について書いておりまして、利用者代表の方は、日頃から感じている利用する上での課題や困ったことを話し合う視点をもって、地域公共交通へのアイデアをありましたらご発言いただければと思います。また、自治体の運行するコミュニティバスや定期船の他に、タクシー、鉄道等のそれぞれの役割を考え、市域を越えて運行する公共交通の役割を踏まえながら、議論をしていただくことが重要となっております。パンフレットを良く見ていただいて次回以降の会議でもよろしくお願いたします。

## 3. 平成 27 年度の取り組み報告

### 4. 平成 27 年度決算について

#### ○野呂事務局員

資料 3、資料 4 について説明。

#### ○富永監事代理牧田さん

監査報告

#### ○木下会長

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

(意見・質問なし)

## 5. 平成 28 年度事業について

### (1) 年間スケジュールについて

#### ○斎藤事務局長

資料 5 について説明。

#### ○木下会長

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

(意見・質問なし)

## 5. 平成 27 年度事業について

### (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

#### ○斎藤事務局長

本計画の対象とする期間は平成 28 年 10 月から平成 29 年 9 月で平成 29 年度補助の申請になります。市の会計年度とは異なることをご理解ください。また、本年 2 月 19 日に中部運輸局で開催されました第三者評価委員会の評価を考慮した計画としております。

資料 6 について説明。

#### ○木下会長

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

○牧田委員

資料 6 の 2 ページの (1) 事業の目標数値について、どこを見ればその実績や評価ができるのかご説明をお願いします。また、地元の方と観光客の利用の割合がわかるのであればご説明願います。

○斎藤事務局長

目標値と実績値の評価については、本会議の資料 8 にございますかもめバス利用状況統計の 2 ページの④路線別乗車人員Ⅱと 3 ページ 4 ページにある各乗車券の平成 27 年度合計数値との比較をしていただければと思います。

観光客と地元の方の利用者数は、確定した数値はありませんので、各乗車券の販売枚数と観光客動向データにより見込を推定する方法しかありません。

○清水委員

フィーダー系統とは、どういうことですか。

○斎藤事務局長

補助要綱のバスの区分として、複数の市町村をつなぐ鉄道やバスなどの地域間交通から鳥羽市に来て市域内の目的地にかもめバスで行く場合、鉄道などを地域間交通と呼ぶのに対して、ある 1 つの地域内だけで運行が完結する交通体系をフィーダー系統と定義しています。たとえば、伊勢と鳥羽を結ぶバスや伊勢と志摩を結ぶバス、また、津市と松阪など 2 つ以上の地域を結ぶバスを地域間交通と定義されております。

○牧田委員

先ほど、加藤委員の助言をいただいて本年度は第 2 次交通計画を準用して確保維持計画を作成したと説明がありましたが、今後、3 次の交通計画策定の予定はあるのですか。

○斎藤事務局長

資料 5 で、地域公共交通網形成計画の説明をしましたが、法律の改正により今後は地域全体を見据えたうえでまちづくりや地域の他の計画内容を含め地域公共交通を考え、新たな計画を策定するのが望ましいとされています。本市ではその計画が第 3 次の計画に位置づけられます。

○木下会長

算定上求めた国の補助金額は 47,785 千円だが、5,473 千円しかもらえないとの説明であった。系統別の補助金額の計算は必要なのか、計算の手間も大変だと思うが。

○斎藤事務局長

国の補助基準で必要とされています。

○小出委員代理杉山さん

事務は手間ですが、生活交通の補助金ということで、どうしても人口ベースで計算されます。予算の上限が決まっていますのでこういう結果となります。今年度から観光にも力が入っていますので今後もしかしたら、観光分を勘案して新しい補助金も出るかもしれませんので期待したいところです。

○今井委員

鳥羽の場合は人口が減っているのが公共交通を維持するのが大変なのですが、いかに観光客の方にもバスや船を利用してもらえるかと、皆さん一生懸命知恵を絞り、近鉄さんや三重交通さんにもいろんな配慮をしてもらって利用者を増やしています。鳥羽は車を駐車する場所も少ないので是非そういう制度を作っていただければと思います。

(以上意見なし)

○木下会長

それでは、この計画に承認いただける方は、挙手をお願いします。

(挙手多数 9/10)

ありがとうございます。ご承認いただきました。

**6、平成 28 年度収支予算（案）について**

○野呂事務局員

資料 7 について説明

○木下会長

事務局に説明させましたがご意見・ご質問はありますか。

(意見・質問なし)

それでは、予算案に承認いただける方は、挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。ご承認いただきました。

**7、その他**

・平成 27 年度かもめバス利用状況統計

○野呂事務局員

資料 8 について説明。

平成 25 年度遷宮で伸びた観光客が減少していることや、平成 27 年度は対前年度人口も減少していることで乗車人員もそれに比例して減少していると分析している。それに反比例して運賃収入は伸びているので乗車券販売枚数や観光動向も見ても各月の分析をしています。おそらく割引きのない普通運賃で観光客の方が多くご利用になられたものと推測されるが、後で三重交通さんや相差町内会長でもある中村委員にもお教えいただきたい。

○中村委員

平成 25 年のご遷宮の年に石神さんへ 25 万人、平成 26 年は 20 万 3 千人、平成 27 年が 19 万人、今年に入ってからサミットの期間中は 5 千人くらい減っていますが、今少し盛り返ってきて 6 月に入り前年より多く参拝客は戻りつつあります。タクシーでも相乗りで見える方があります。地元では参拝時間にちょうどいいバスの路線をもう 1 本増やしてもらいたいと声があります。

○今井委員

滞在時間が延びたら、地元で食事とか買い物をしてもらうとか考えられないでしょうか。

○中村委員

そういうこともあり地元では、平成 24 年～平成 27 くらいの参拝客の維持をしていく仕掛けをしていくことが必要かなと思っています。また、今年 2 月に開催した石神さんマラソンを来年も 2 月 5 日開催することを決定しています。それによる波及効果として宿泊にも繋がるので、3 年くらいは定着できるよう実施していきたい。さらに、サミット後は海外メディアを含め取材も増えています。

○斎藤事務局長

定期船課への電話の問合せでは、神明神社への往復のバスダイヤを多く聞かれます。帰りの待ち時間が長い場合は、食事勧めさせてもらいますが簡単に食事のできる所がお勧めできないので、その辺も力を入れて PR してもらえればどうかと思います。

○今井委員

神明神社に行かれるお客さまが多いと三重交通さんは追車バスを出してますが、その辺の様子を聞か

せてもらえませんか。

○中林委員（三重交通伊勢営業所）

石神さんに行かれるお客さまは大変多いわけですが、ハローバス停を経由するため小型のバスとなっており、追車の対応に苦慮している。しかし、観光客を優先するとハローに行かれる住民の方にも影響があり、路線全体を維持する為にもバランスを取るのは今後の課題かなと思います。

伊勢管内においても観光客の動向が大切になっていますが、ご遷宮以降は減少傾向にあるなか今年の1月から3月にかけては対前年を上回っており、サミット効果でかもめバスについても同じ様な流れがあると思います。4月・5月は警備関係者の利用で参考にならないくらいの数値となっていますが、6月に入ってから増加しています。

○中垣内委員（三重交通志摩営業所）

鳥羽小学校石鏡港線においても4月から5月にかけては警察関係の方の利用が多く、6月になると減少しております。かもめバスの役割として住民の方のコミュニティと観光客が共存できるような運用がいいと思っています。

○斎藤事務局長

交通網形成計画策定調査業務の結果では、国崎線は鳥羽駅周辺から長岡地区までまんべんなく利用されており経営的に良いとされています。しかし、ハローがネックとなり定員数が少ない。他の路線では鳥羽駅からひだまり間だけの利用が多く末端地域では利用が少ない傾向があります。このことから国崎線を大型化して他の路線を小型化する意見も提案されていますことから、新しい網形成計画の中ではその課題と路線の再編を検討するような内容も盛り込む必要があるかと思っています。

○木下会長

土日は時間帯を見て直通便を運行する案も考えてみたらどうか。

○今井委員

コミュニティバスでもあり観光バスのような直通バスを走らせていいのか疑問があります。

○斎藤事務局長

補助路線としてのコミュニティバスから外してなら可能性があるのではないかと。

○中垣内委員

実は、小型の車輛は現在生産がされておらず保有台数も限られており、新車で導入することも不可能で老朽化が進んでいて各営業所で取り合いになっている。何年か先にはこの車輛が存在しなくなる。今すぐにではないが考えておく必要があることをご報告させていただきます。なかには5年先まで使えるかどうかという車輛もあります。

○中林委員

よく似たタイプの車輛はあるが低床タイプなので、路線上に走れない段差やきつい曲がり角があるとか、新しいバスでも走れない場所があるという現状あります。

○中村委員

車輛購入にかかる国の補助制度はないのですか。

○小出委員代理杉山さん

補助制度はありますが低床タイプとなります。

○木下会長

他に、意見はありませんでしょうか。  
(特に意見なし)

## 7. 閉会

○斎藤事務局長

本会議の議題について全て協議が終了しました。また、確保維持計画の承認をしていただきましたので交通会議として申請をしていきます。

本日はお忙しい中参加いただき誠にありがとうございます。これにて第1回鳥羽市地域公共交通会議を終了させていただきます。